

【コロナ】情報提供に Line や防災無線の活用

ワクチンやコロナに関する情報提供はスピードが求められます。月に2回程度の広報紙ではなかなか間に合いません。

新しい情報提供手段として防災無線活用や市の Line 公式アカウントによる情報提供を提案しました。防災無線は9月12日のワクチン集団接種で急遽予約不要で受付を開始した時に活用されました。Line 公式アカウントに関しては今後導入を検討するとのことで、早期導入を引き続き求めていきます。



国立市の公式アカウント
タイムリーな情報提供が可能となる

【特集】香害・化学物質過敏症って!?

誰にも起こりうる健康被害!

香害・化学物質過敏症とは…（必ずしも香りの有無に関係なく）化学物質に反応し、体調が悪化する症状です。倦怠感、関節の痛み、集中力低下、ろれつが回らない、呼吸困難、めまい、鼻血、下痢、しびれ、目の痛み、記憶障害など様々です。発症時期、症状の内容や軽重などは人によってそれぞれですが、誰もが発症する可能性もはらんでいます。症状を抱える人も増加傾向にあるようです。原因例：柔軟剤、制汗剤、殺虫剤、消臭剤、芳香剤、食品添加物、タバコ、香水、農薬…等

私は SNS などの手段で被害者の声を募ったところ「仕事を辞めざるを得なかった」、「外出する度に辛い思いをする」など、とても多くの反響をいただきました。本来であれば当たり前前に享受できるはずの衣食住すらままらなくなる、本当に深刻な問題だと感じています。自分が被害者になる可能性もあり、また自分が他者を苦しめてしまう可能性もあります。議会ではそういった現状を行政に伝えると共に、多くの市民に周知することや学校などでの配慮などを求めましたが、「相談や声が寄せられていない」と、まだ行政の対応性の必要性に対する認識や理解は不十分に感じました。今後も粘り強く訴えていきます。



省庁共同作成のポスター

国でもほんの少しずつだが進展

先日の衆院選挙でも応援していた大河原まさこ議員は、5 省庁（消費者庁、環境省、経産省、文科省、厚労省）をまたいだ連絡協議会の設置を求めたり、連名の啓発ポスターの作成を実現させるなど、精力的に取り組んできました。今年に初めて省庁共同のポスターが発行されるなど、少しずつの進展は見えてきているものの、具体的な対応や救済はこれからです。今後も連携を重ね、国にも自治体にも一層踏み込んだ対策を求めています。



大河原まさこ衆議院議員と

皆様へのお配りについて

このニュースは有志ボランティアや生活にお困りの方や就労支援団体による有償ポスティングなど、様々な人によって配られています。それぞれの無理のないペースでの配布をお願いしているため、どうしても遅い時期のお配りになってしまうことも多々あります。何卒ご了承ください。

最年少

立川市議会議員

山本ようすけ

緑たちかわニュース Vol. 10

小学生との環境学習
@残堀川

今
回
の
内
容

【コロナ】情報提供に Line や防災無線の活用を!

【特集】香害・化学物質過敏症って!?

転生したと思ったら立川だった件 (裏面)

「どうしてガサガサ(※)と呼ぶと思う!?!」
ドヤ顔で小学生にやり方を説明する山本
しかし手本を見せるもエゼ1匹獲れず微妙な雰囲気...

発行日:2021年9月25日(第二版)
発行:立川市議会議員 山本ようすけ
連絡先:立川市高松町2丁目19-1
TEL:080-5650-7833
Email: t.yamayou@gmail.com

※…網や足でガサガサやって生き物を捕まえるからガサガサ

先の 見えない 不安の中に思う

上の写真は残堀川で実施した小学生年生向けの環境学習です。普段何気なく見ている川の水は意外と冷たくて、流れが速いことを感じてもらい、水の中には多くの生き物がいること、ゴミ(特にプラスチック)も沢山捨てられていることを実感してもらい、校外での活動が少なくなっている中で、学べることは沢山あったかと思います。そして、獲れた生き物に目を輝かせる子どもたちの様子を見れば、こうした校外学習は決して不要不急だとは思えません。

さて、コロナの感染状況は落ち着きつつあるものの、私の元には日々の生活に関する様々な相談が寄せられています。

お困り事やご要望、どんな相談でもかまいません。

何かあれば山本まで気兼ねなくご連絡ください。

山本 洋輔

新型コロナウイルスの情報

右記の山本 HP から随時、情報を見やすく公開しています!

ワクチン接種予約

コロナ全般

予約センター

0120(741)567

平日の8時30分~17時30分

立川市ホームページ



山本洋輔 プロフィール

- 1990年生まれ。稲城市育ち。高松町在住。4歳下、10歳下の妹2人と育つ。
- 立川高校、一橋大学社会学部 卒業
- 大学浪人時代から困窮者支援ボランティアに携わる
- コンサルティング会社に4年勤めた後、2018年立川市議選に立候補、当選(最年少)
- 立川市議会議員(最年少)
- 環境建設委員会 副委員長
- NPO 法人さんきゅうハウス理事
- 趣味 歴史、読書、映画鑑賞、登山

